

日本を学ぶ、
神職を目指す

國學院大學 神道文化学部



神職子女向けリーフレット

オープンキャンパス

5月15日^日、7月29日^金・30日^土、8月27日^土・28日^日、9月25日^日、10月30日^日

神道文化学部の祭礼行事

若木祭の神輿渡御



國學院は「祭りの大学」！



高島 瑞暉さん

神道文化学部4年（フレックスB・昼間主）／神田神社内定



私は兵庫県の社家の次男です。物心ついたときから祖父や父のうしろ姿を見て育ってきました。「将来は神職になりたい！」この思いから、神道文化学部への入学を決意したのです。わが学部には、全国から神職子女が集います。ここで生涯の仲間と出会えました。様々な思い出は到底語り尽くせません。



神道文化学部では、神社や神道に関する講義を多く受講することができます。実際に神社で御奉仕をされている先生も少なくありません。実践的で臨場感のある講義や演習によって、将来神職となるための心構えやスキルがしっかりと身に付きます。



さらに私は、東北でのボランティア活動、全国各地の祭礼への参加などを通して、行く先々で、お祭りを支える人々との触れ合いを重ねてきました。日本が「祭りの国」である所以を、心から実感した次第です。こうした経験も、私にとってのかけがえのない宝物となりました。



先般、おかげさまで都内の神社への奉職内定をいただきました。学部での学修、さまざまな経験を活かし、これからの神社界に少しでも貢献できるように努力していきたいと願っています。

※学年は全て取材時のものです





諏訪 友里恵さん

神道文化学部4年（フレックスB・昼間主）／トヨタカローラ高崎内定



本年の成人加冠式で、同じ4年生の友人と2人で「浦安の舞」の舞人を務めました。後輩の新成人を御祝いたい一心で、精一杯のまごころを籠めて舞わせていただきました。それは、私にとって文字通り大学生活の総決算でした。万感の思いを抱きながら舞わせていただきました。



私は社家のひとり娘として生まれました。入学に際しては迷いがありましたが、今は神道文化学部で学べて本当によかったと思っています。とりわけ社家に生まれた「跡継ぎ女子」の友人たちと、一生モノの「友情の絆」を育むことができました。



ゼミの先生は藤本頼生准教授です。「神社界と女子神職」のタイトルで演習論文を作成しています。藤本先生は、神職子女の抱えるさまざまな問題に、本当に親身に寄り添ってくださいます。いつも温かいアドバイスと励ましをいただいています。



就職活動では、実家の神社のご奉仕のことを考え、地元企業への就職を目指しました。おかげさまで、業界最大手の自動車販売店から内定をいただくことができました。卒業後は、学部での経験を活かし、地域の方々と心を通い合わせ、神社を支えていきたいものと願っています。



國學院は「みやびの大学」



成人加冠式



神田神社で

神道文化学部での経験が、ご奉仕の支えとなっています



齊藤 美姫子さん

神田神社権禰宜（平成26年神道文化学部卒業・122期）



神田神社で初めての女性神職として奉職させていただきました。当初は巫女としての仕事から入り、1年を経て、権禰宜を拝命しました。この前後から、参拝者の御祈願を奉仕させていただけるようになったのです。



御祈願では、斎主を務めさせていただくこともあります。とりわけ新生児の初宮詣でご奉仕すると、親御さんからとても喜んでいただけます。いちばん嬉しいのは、報賽に来られた方々の喜びのお顔に接する時です。御祈願はいつも一期一会です。御祈願の方々のまごころにお応えし、精一杯のまごころを籠めて奉仕させていただきます。



学部での学びが、ご奉仕に役だっていることはもちろんです。さらに私の支えになっているのは、お神輿サークル「若木陸」での活動です。私はこの活動を通じて、全員参加で形作るチームワークの素晴らしさ、皆で心をつなげて盛り上がる昂揚感を、いつも満喫してきました。皆が力を合わせ、困難を乗り越え、目的を達成する…。こうした経験は、神社のご奉仕だけでなく、一般社会の現場でも、必ず活かしてくるものだと思います。



神田神社の職員は、新しい時代のうねりの中で、神社をどう活かし、新たな発展をいかに齎していくか、常に心を砕いています。微力ながら私も、そのお手伝いができればと願っています。



奨学金・神社実習生の國學院



塩満 妃七野さん

神道文化学部1年（フレックスA・夜間主）



私は鹿児島県の社家の生まれです。大学進学に際して、実家に経済的負担をかけてしまうことに胸を痛めていました。



そんな時、神道文化学部リーフレットで、本学の奨学金制度・神社実習生制度のことを知ったのです。私は、神社で実習をしながら大学に通うことのできるフレックスA（夜間主）への入学を決意しました。



入学以来、永田町の日枝神社で実習生として奉仕しています。当初は緊張や不安もありましたが、宮司さまをはじめ職員・先輩の方々の温かいご配慮で、とても充実した日々を過ごさせていただいております。



参拝者の皆さまと接していると、ご社頭が「心と心の触れ合いの場」であることを、しみじみと実感します。これからもまた、ご社頭で、大学の教室で、多くのことを学ばせていただき、神職としての「まごころ」を磨き上げていきたいと願っています。



神社実習生として「まごころ」を磨いています



◆ 國學院大學の奨学金制度

神道・宗教
特別選考
新入生対象

返済不要

神職子女奨学金

1年次は全員支給

- 【1年次生】 自宅外通学者40万円／
自宅通学者20万円支給(全員)
【2年次以上】 自宅外・自宅通学者ともに年額10万円支給
(学業成績の上位20名以内)

夜間主学生対象

返済不要

國學院大學フレックス特別給付奨学金／平成28年度以降入学者：400,000円 ※応募者全員採用実績あり

神社界からの奨学金

神社本庁育英奨学金／30万円支給（2年生以上）※条件あり
全国敬神婦人連合会育英奨学金／15万円支給（女子学生のみ、2年生以上）

伏見稻荷大社奨学金／12万円支給

返済不要

返済不要

◆ 学部神社実習生制度

学費・生活費不要。東京都内で神明奉仕

実習神社（一部、平成27年度）

浅草神社、春日神社、小野照崎神社、亀戸天神社、小岩神社、
金王八幡宮、松陰神社、東京大神宮、富岡八幡宮、日枝神社、
明治神宮、靖國神社、六郷神社

実習生の主な奉職先（一部、平成24～27年度）

北海道神宮、樽前山神社、東京大神宮、富岡八幡宮、日枝神社、鶴岡八幡宮、諏訪大社、三嶋大社、
貴船神社、賀茂別雷神社、平安神宮、大阪天満宮、太宰府天満宮、佐嘉神社、祐徳稲荷神社、
宇佐神宮、鵜戸神宮、宮崎八幡宮

※神社実習生制度への申し込みについては、
神道研修事務課へご相談ください。



祭式教室で

祭式の作法を学んでいると、 自分が神職を目指していることを実感します



永井 承吾さん

神道文化学部2年（フレックスB・昼間主）



私は北海道の社家の長男です。父が懸命に奉仕する姿を見て、自分もしっかりしなければという気持ちになりました。大学進学に際しては、自分の意志で、神道文化学部への進学を決めたのです。



現在は、とりわけ祭式の授業に熱心に取り組んでいます。父は、祭式に関して、「大学でしっかりしたものを教われ」というタイプでした。いま作法や次第を学んでいると、自分が神職を目指していることを実感します。



祭式では、神さまにご奉仕するという共通の目的のもと、全員が連携して役割分担します。私は祭式の授業の独特の緊張感、皆で力を合せる共同作業の醍醐味が大好きです。これから祭式の実修に励み、神道文化学部生ならではの「礼節とまごころ」、「チームワークのこころ」を、しっかりと身に体していきたいと思っています。

ゼミの神道文化学部



押本 和香菜さん

神道文化学部4年（フレックスB・昼間主）



私は都内の神社の長女です。大学に入学して最初の授業が武田秀章教授の『古事記』の講読（『古典講読Ⅰ』）でした。『古事記』に登場する神々が、とても「人間らしい」のに驚きました。『古事記』の面白さに惹かれ、三年次から始まる演習は、迷わず武田秀章教授のゼミに入りました。



武田ゼミでは、いつも少人数でのグループ討論が行われています。仲間との意見交換で、一挙に新しい視野が開け、目の前が明るくなるような気持ちになることもありました。いよいよ『古事記』を読み深めることが楽しくなります。



ゼミでは天照大御神を巡る論文を作成しました。『古事記』のヒロイン・天照大御神。その「復活と成長」の軌跡を、自分なりの視点から詳しく辿りました。



研究に一生懸命取り組み、仲間と切磋琢磨したゼミの2年間。それは、私の人生にとって、かけがえのない貴重な経験になりました。実家の神社には幼稚園があります。日本の未来を担う幼な子たちに、『古事記』の醍醐味を伝えていけたらと夢見ています。



ゼミは愉しい！

武田教授ゼミのグループワーク —『古事記』を語る—



二つ目の祭式教室が竣工！



2203 教室（祭式教室）



平成27年10月、2203教室のリニューアル工事が完工しました。「二つ目の祭式教室」として使用できる多目的教室の誕生です。「祭式の國學院」の施設設備が一層充実しました。

平成29年度 推薦・特別選考入試日程

入試区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表	入学手続期間（消印有効）
神道・宗教特別選考Ⅰ期 「神社本庁包括下の神社」及び「神道系教団」の後継者を対象とした入試です。	8/25(木)～9/2(金)	1次：書類選考 2次：9/18(日)	1次：9/9(金) 2次：9/24(土)	9/26(月)～10/3(月)
神職養成機関普通課程特別選考	8/25(木)～9/2(金)	9/18(日)	9/24(土)	9/26(月)～10/3(月)
公募制自己推薦（AO型） 「神道文化学部でぜひとも神道文化・宗教文化を学びたい」という強い意欲を抱く志願者を選抜します。	10/1(土)～10/7(金)	1次：書類選考 2次：11/13(日)	1次：10/21(金) 2次：11/24(木)	11/25(金)～12/2(金)
神道学専攻科 4年制大学を卒業した神職子弟が、1年間で神職資格（明階検定合格、正階授与）取得を目指す課程です。	10/10(月)～10/17(月)	11/27(日)	12/6(火)	12/8(木)～12/15(木)
神道・宗教特別選考Ⅱ期（夜間主） 「神社本庁包括下の神社」及び「神道系教団」の後継者を対象とした入試です。	2/6(月)～2/10(金)	2/27(月)	1次：2/20(月) 2次：3/6(月)	3/7(火)～3/10(金)
別科神道専修Ⅰ類・Ⅱ類 高等学校の卒業者が、神職資格取得を目指す課程です。	2/6(月)～2/10(金)	2/27(月)	3/6(月)	3/7(火)～3/10(金)

※出願資格など詳しい入試の情報については、國學院大學ホームページをご覧ください。本学入学課（電話03-5466-0141）へお問い合わせください。志願される方はお早めに「入学試験要項」を入学課までご請求ください。

説明会

神道・宗教特別選考を志望する方々へ —— 入試説明会のお知らせ

5月15日(日)、7月29日(金)、8月27日(土) ※いずれも、渋谷キャンパスで行います。

「神道・宗教特別選考」を希望される方は、ぜひ御参加ください。

学部長挨拶



武田秀章学部長

神道文化学部では、全国から集まった神職子女がいきいきと学び、また四季折々の年中行事に勤しんでいます。平成14年の学部開設以来、神職養成に向けた実践的カリキュラムの改善はもちろんのこと、数々の奨学金制度（神職子女奨学金、フレックス奨学金等々）による経済的サポート体制もしっかりと整備されてきました。昨年十月には宿願の「二つ目の祭式教室」も竣工し、施設設備の一層の充実も実現しました。神職子女のみならず、國學院に集い、父祖以来の「学びの輪」に連なりましょう。教職員一同、みなさんの入学を心待ちにしています。

神道文化学部のウェブサイトでは学部の最新情報を毎週お伝えしています。学生諸君の生き生きとした学びの姿をご覧ください。

